

【図1】本部町の津波ハザードマップ



津波の浸水地域(2mと4m)や避難経路を記したハザードマップ(本部町HPより)。下記のサイトなどで、自分の町のハザードマップを確認して、日ごろから家族で避難経路などについて話し合うことが大切です

市町村のサイトをはじめ、沖縄県の防災マップ・ハザードマップ情報(<http://防災マップ.jp/?p=615>)、国土交通省のハザードマップポータルサイト(<http://disaportal.gsi.go.jp/viewer/>)などで確認できます(表示されないエリアもあります)

津波のメカニズムを教えてください

海洋で地震が発生し、海底が瞬間的に隆起もしくは沈降すると、これに伴って海面も変動し、大きな波となって四方に伝わっていく。これが津波です。

津波の速度は海が深いほど速く、外洋ではジェット機並みの速さです。海岸に近づくにつれて遅くなり、波と波の間隔が短くなった分、高さが高くなります。かなりの速さで陸上を駆け上がるので、とても逃げ切れません。

津波の高さは基準面(津波がない場合の潮位)から

沖縄の過去の津波にはどんなものがありますか？

1771年の「明和の大

津波」は、海底の地滑りが原因で起きたといわれています。浸水高は建物などが水没した深さ、遡上高は津波が陸上を駆け上がった最高の海拔をいいます。遡上高は津波の高さの4倍程度になることもあります。

津波は地震のマグニチュードが6.5以上で起こるとされ、高さ0.5メートルの津波が予想されるとき「津波注意報」、1メートル以上のとき「津波警報」、3メートル以上のとき「大津波警報」が発令されます。

津波対策では何が一番重要ですか？

何よりも大切なことは、的確な情報に基づく素早い避難です。

早朝に突然襲来したチリ地震津波では、旧羽地村真

津波は、海底の地滑りが原因で起きたといわれています。浸水高は建物などが水没した深さ、遡上高は津波が陸上を駆け上がった最高の海拔をいいます。遡上高は津波の高さの4倍程度になることもあります。

津波は地震のマグニチュードが6.5以上で起こるとされ、高さ0.5メートルの津波が予想されるとき「津波注意報」、1メートル以上のとき「津波警報」、3メートル以上のとき「大津波警報」が発令されます。

津波避難ビルとはどういうものですか？

津波の浸水地域や避難経路を記した地図をハザードマップといいます(図1)。海拔が低く適当な避難場所がない海岸近くでは、津波避難タワーや避難ビルが必要です。

那覇市では若松市営住宅跡地に避難ビルを建設する計画です。収容人数は10

喜屋で3人の溺死者を出しました。右の写真は真喜屋小学校の校庭の様子です。当時10歳だったNさんは「襲来の時間が1〜2時間遅れていれば、我々真喜屋小学校の全児童が犠牲になった可能性が大きく、今でも運が良かったと思います」と述べています。

群馬大学の片田敏孝教授は、釜石市の小中学校の防災授業で「避難の3原則」を強く訴えてきました(表1)。その結果、東日本大震災では「釜石の奇跡」としてよく知られているように、多くの児童とその家族の命が救われました。

【表1】片田敏孝教授の「避難の3原則」

① 想定にとらわれるな	自然災害は想定をはるかに上回ることがある。自分自身で判断せよ!
② 最善をつくせ	一番安全なところまで逃げよ。決してあきらめるな!
③ 真っ先に逃げる	君が一番最初に逃げだすことが皆を引っ張り、多くの命を救う!

*河北新報(2011年11月26日)をもとに構成

Human Communication
NPO法人
沖縄県建築設計
サポートセンターに
聞きました
vol.004

耐震診断のすすめ 4

いつかの・その日に、 備えていますか？ 〜津波への対策〜

地震とともにやって来る津波。周囲を海で囲まれた沖縄では、建物の耐震化に負けず劣らず、津波対策は重要です。



真喜屋小学校校庭のデイゴの木に引っ掛かった机と椅子(「沖縄の気象」山崎道夫他、日本気象協会沖縄支部、1989年より)

00〜2000人、建物の規模は40メートル四方、高さは15〜20メートルの予定です。

国交省の「津波避難ビル等の構造上の要件に係る暫定指針」では、浸水深の3倍程度の深さの津波波力と浮力を考慮します。どの程度の浸水深を考えればよいかは難しい問題ですが、チリ地震津波で経験した4メートルに、まずは注目すべきと考えています。

以上で、本シリーズは終わります。

民間住宅の耐震診断・改修の補助制度について 〜那覇市・浦添市・うるま市で実施〜

昭和56年6月1日より前に着工した鉄筋コンクリート造の戸建て住宅、共同住宅、長屋住宅を対象に、耐震診断・改修の補助制度があります。詳細は下記までお問い合わせください。なお、今年度は耐震診断が対象です。

沖縄県建築設計サポートセンター 電話098-879-1020
<http://www.okiken.asia/>
那覇市建築指導課 電話098-951-3244
浦添市建築課 電話098-876-1234(代表)
うるま市建築指導課 電話098-965-5601